

2023年3月期 第3四半期決算



トヨタのクルマをご愛顧いただいている世界中のお客様、そして私たちの取り組みを支えていただいている株主の皆様、販売店・仕入先、全てのステークホルダーの皆様に深く感謝申し上げます。

今もなお、多くのお客様に納車をお待ちいただいている状況が続いております。
大変申し訳ございません。

少しでも早くお届けできるように努力してまいります。

将来予測・インサイダー取引について

TOYOTA

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- 為替相場（主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、加ドルおよび英国ポンドの相場）、株価および金利の変動
- 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特許・知的財産等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的不安定さ
- タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ブランド・イメージの毀損
- 仕入先への部品供給の依存
- 原材料価格の上昇
- デジタル情報技術および情報セキュリティへの依存
- 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延、不安定な政治・経済、燃料供給の不足、社会基盤の障害、戦争、テロ、ストライキなどによる様々な影響
- 気候変動および低炭素経済への移行の影響

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書（フォーム20-F）をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意：

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（金融商品取引法166条）。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービス）により掲載された時点をもって「公表」されたものとみなされます。

2023年3月期 第3四半期決算サマリー**実績：営業利益 2兆980億円（第3四半期3ヶ月 9,566億円）**

- ・半導体需給ひっ迫や自然災害などの影響で**生産計画が大きく変動**する中、**販売店・仕入先・工場の現場が必死に努力**
- ・**9ヶ月累計の営業利益は減益**だが、**第3四半期3ヶ月**は、**資材高騰のマイナスを為替の円安や台数増加のプラスが上回り、増益を確保**

通期見通し：営業利益 2兆4,000億円（前回は据え置き）

- ・**お客様に1台でも多くの商品をお届けする**ため、**あらゆる対策を推進**
 - 半導体の安定調達に向け、代替品の評価や設計変更に迅速に対応
 - 車両1台単位で受注～納車まで見える化、リードタイム短縮
- ・**資材・エネルギー高騰**による仕入先の負担を当社が一旦受け止め、**サプライチェーン全体に広く・深く体質強化活動が浸透**するように活用
- ・モビリティカンパニー実現に向け、**カーボンニュートラルへの貢献、地域のニーズに寄り添った多様な価値観に応えられるよう、具体的な行動で、商品で、示し続けたい**

まず、2023年3月期 第3四半期決算のサマリーについて、ご説明いたします。

半導体需給ひっ迫や自然災害などの影響で生産計画が大きく変動する中、販売店・仕入先・工場の現場が必死に努力してまいりました。

9ヶ月累計の営業利益は減益だったものの、第3四半期3ヶ月は、資材高騰のマイナスを為替の円安や台数増加のプラスが上回り、増益を確保しました。

通期見通しは、営業利益 2兆4,000億円、前回は据え置きます。お客様に1台でも多くの商品をお届けするため、半導体の安定調達に向けた、代替品の評価や設計変更への迅速な対応、車両1台単位で受注から納車まで見える化し、リードタイムを短縮するなど、あらゆる対策を推進してまいります。

資材やエネルギー費などの高騰による仕入先の負担を当社が一旦受け止め、サプライチェーン全体に広く、深く体質強化活動が浸透するように活用してまいります。

モビリティカンパニー実現に向け、カーボンニュートラルへの貢献、地域のニーズに寄り添った多様な価値観に応えられるよう、具体的な行動で、商品で、示し続けたいと思います。

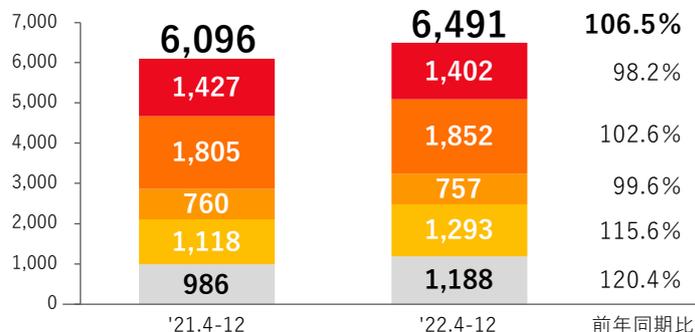
2023年3月期 第3四半期 実績

4月から12月までの、9ヶ月累計の実績について、
ご説明します。

連結販売台数（9ヶ月累計）

TOYOTA

（単位：千台）



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他
 - ・中南米
 - ・オセアニア
 - ・アフリカ
 - ・中近東など

ご参考（小売）

トヨタ・レクサス販売台数	7,155	7,210	100.8%
電動車〔比率〕	1,983 [27.7%]	2,006 [27.8%]	101.2%
内、HEV	1,876	1,918	102.3%
PHEV	91	65	71.5%
BEV	12	20	167.5%
FCEV	4	3	63.7%
グループ総販売台数	7,787	7,889	101.3%

5

当期の連結販売台数は、前年同期に対して106.5%となる、649万1千台、トヨタ・レクサス販売台数は、前年同期に対して100.8%となる、721万台となりました。

地域別では、アジア・その他地域が、コロナからの回復により、増加しました。

連結決算要約（9ヶ月累計）

TOYOTA

（単位：億円）	'21.4-12	'22.4-12	増減
営業収益	232,670	274,640	+41,969
営業利益	25,318	20,980	△4,337
営業利益率	10.9%	7.6%	
営業外損益	7,057	7,711	+654
持分法による投資損益	4,155	4,747 *	+591
税引前利益	32,375	28,692	△3,682
親会社の所有者に帰属する四半期利益	23,162	18,990	△4,171
四半期利益率	10.0%	6.9%	
為替レート			
米ドル	111円	136円	25円円安
ユーロ	131円	141円	10円円安

* うち、日本2,112（前年同期比△429）、中国2,230（同+707）、その他404（同+313）

6

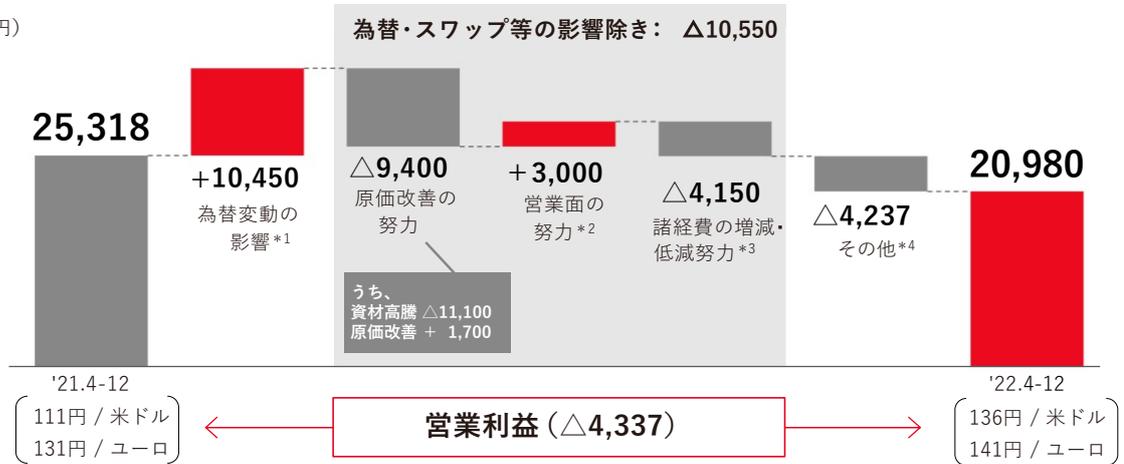
当期の連結決算は、

営業収益、 27兆 4,640億円
 営業利益、 2兆 980億円
 税引前利益、 2兆 8,692億円
 四半期利益、 1兆 8,990億円

となりました。

連結営業利益増減要因 (9ヶ月累計)

(単位：億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+10,150	海外子会社の	+900	労務費	$\Delta 1,200$	スワップ等の評価損益	$\Delta 2,246$
- 米ドル	+8,400	営業利益換算差		減価償却費	$\Delta 400$	ロシア生産終了	$\Delta 1,040$
- ユーロ	+550	その他	$\Delta 600$	研究開発費	$\Delta 650$	その他	$\Delta 951$
- その他通貨	+1,200	(外貨建引当の期末換算差ほか)		経費ほか	$\Delta 1,900$		

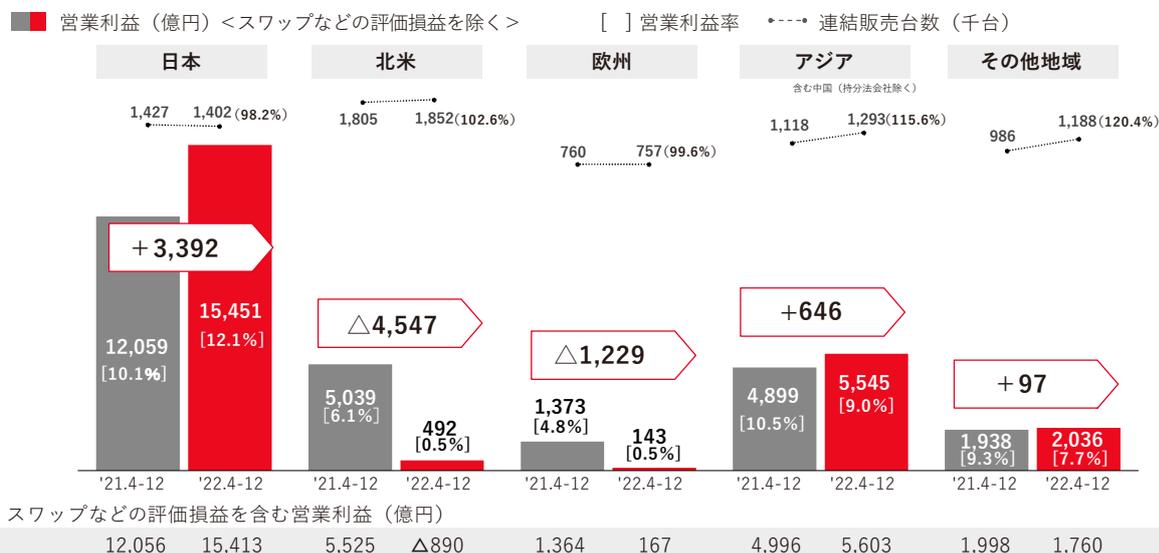
営業利益の増減要因について、ご説明します。

為替変動の影響により、10,450億円の増益、
 原価改善の努力は、資材高騰 11,100億円の影響が大きく、
 9,400億円の減益、
 営業面の努力は、3,000億円の増益、
 諸経費の増減・低減努力は、4,150億円の減益、
 その他、スワップ評価損やロシア生産終了に伴う費用などにより、
 4,237億円の減益となりました。

この結果、為替変動・スワップ評価損益等の影響を除いた
 営業利益は、10,550億円の減益となりました。

所在地別営業利益（9ヶ月累計）

TOYOTA



8

所在地別の営業利益について、ご説明します。

日本は、資材高騰による減益の一方、為替変動の影響により、前期比3,392億円の増益となりました。

北米は、資材高騰の影響や諸経費の増加により、前期比4,547億円の減益となりました。

欧州は、営業面の努力による増益の一方、資材高騰の影響や、ロシア生産終了に伴う費用により、前期比1,229億円の減益となりました。

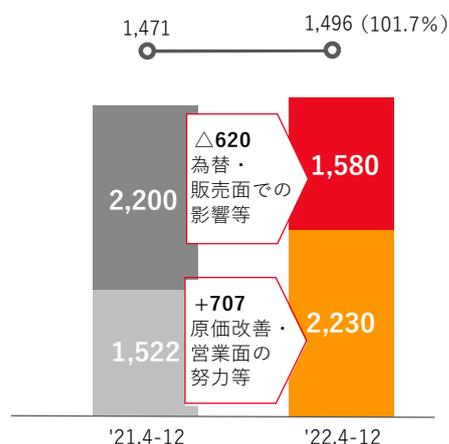
アジアは、為替変動の影響と販売台数の増加により、前期比646億円の増益となりました。

その他地域は、前期比97億円の増益となりました。

中国事業/金融セグメント (9ヶ月累計)

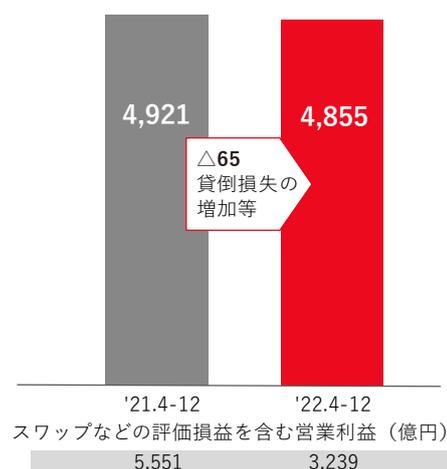
中国事業 (ご参考)

- 連結子会社 営業利益 (億円)
- 持分法適用会社 持分法による投資損益 (億円)
- トヨタ・レクサス販売台数 (千台)



金融セグメント

- 営業利益 (億円) <スワップなどの評価損益を除く>



中国事業ならびに金融セグメントについて、ご説明します。

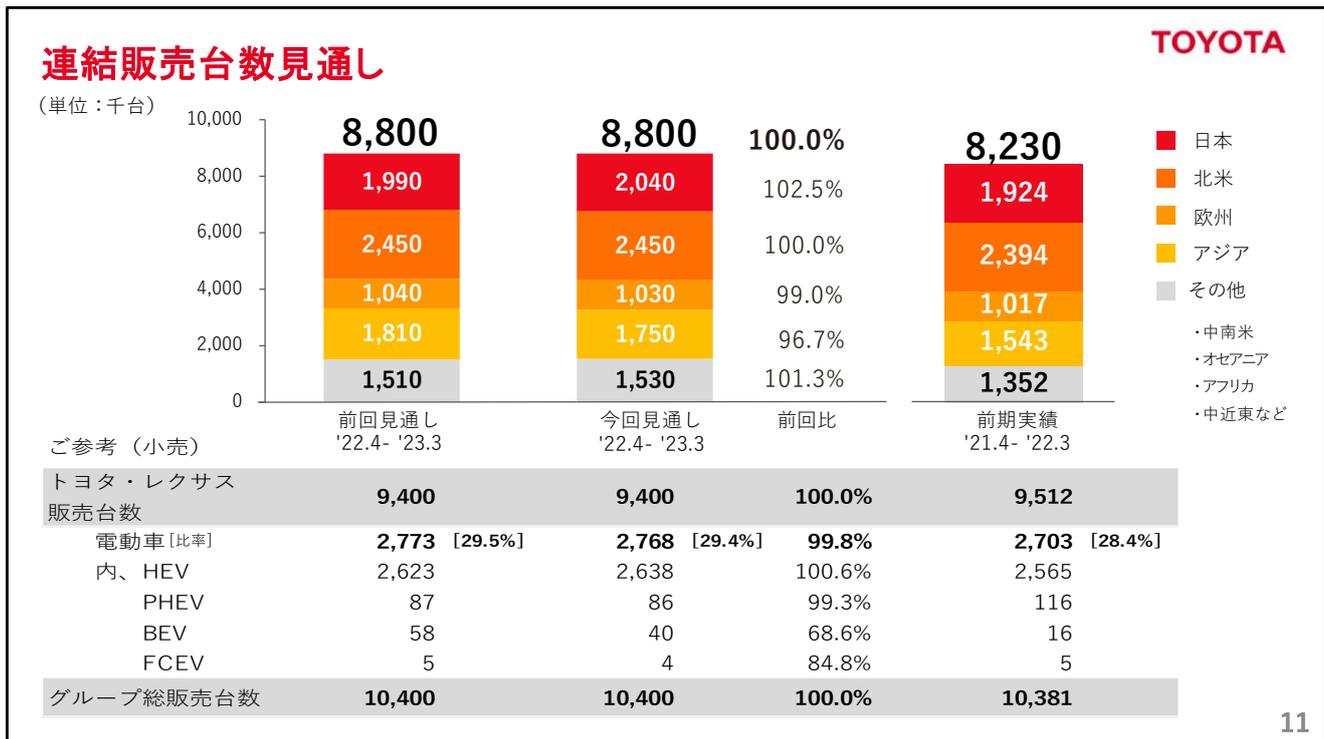
中国事業は、連結子会社の営業利益が、為替変動の影響や台数の減少などにより、減益となる一方、持分法適用会社の持分法による投資損益は、原価改善の努力や台数の増加などにより、増益となりました。

金融セグメントは、貸倒損失の増加などにより、減益となりました。

2023年3月期 見通し

続いて、通期の見通しについて、ご説明します。

※日野自動車の見通しの取り扱い
第2四半期 : 台数、営業収益、営業利益
第3四半期以降 : 全項目



連結販売台数、トヨタ・レクサス販売台数ともに、11月時点の見通しから変更していません。

地域別の内訳については、日本とその他地域の増加、欧州とアジアの減少を見込んでいます。

連結決算見通し要約

TOYOTA

(単位：億円)	前回見通し '22.4-'23.3	今回見通し '22.4-'23.3	増減	前期実績 '21.4-'22.3
営業収益	360,000	360,000	±0	313,795
営業利益	24,000	24,000	±0	29,956
営業利益率	6.7%	6.7%		9.5%
営業外損益	9,400	9,400	±0	9,948
持分法による投資損益	6,200	6,200	±0	5,603
税引前利益	33,400	33,400	±0	39,905
親会社の所有者に帰属する当期利益	23,600	23,600	±0	28,501
当期利益率	6.6%	6.6%		9.1%
為替レート				
米ドル*	135円	134円	1円円高	112円
ユーロ*	137円	139円	2円円安	131円

* 第3四半期実績：米ドル136円/ユーロ141円、'23年1月以降の前提為替レート：米ドル125円/ユーロ135円

12

次に、連結決算の見通しです。

通期の為替レート的前提は、
ドル134円、ユーロ139円としました。

1月以降の為替レートを、1月下旬の平均レートをもとに、
ドル125円、ユーロ135円としています。

通期の業績見通しは、

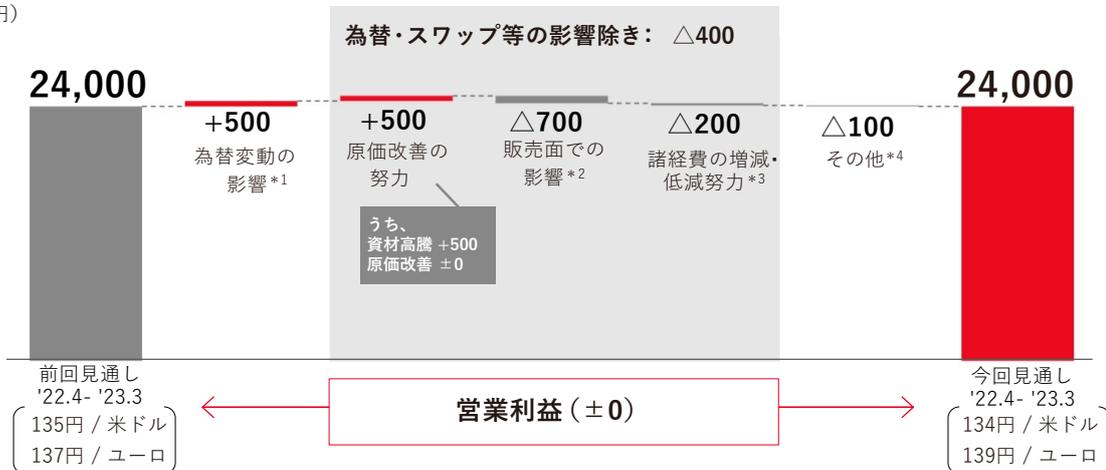
営業収益 36兆円
 営業利益 2兆4,000億円
 税引前利益 3兆3,400億円
 当期利益 2兆3,600億円

を見込んでいます。

連結営業利益増減要因（前回見通し差）

TOYOTA

(単位：億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳			
輸出入等の外貨取引分	△150	海外子会社の	±0	台数・構成	△1,150	労務費	△250	スワップ等の評価損益	△50
(-米ドル)	△750	営業利益換算差		金融事業	±0	減価償却費	±0	ロシア生産終了	△71
(-ユーロ)	+250	その他	+650	その他	+450	研究開発費	±0	その他	+21
(-その他通貨)	+350	(外貨建引当の期末換算差ほか)				経費ほか	+50		

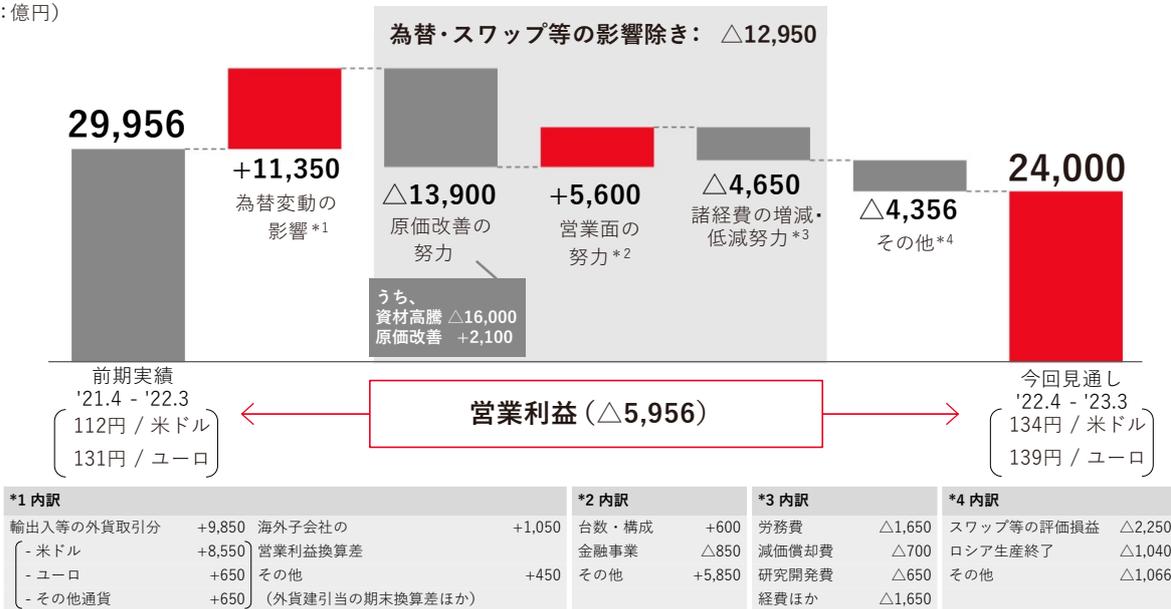
13

前回見通しからの増減要因について、ご説明します。

為替変動の影響は、500億円の増益、
 原価改善の努力は、500億円の増益、
 販売面での影響は、中国向け完成車の台数減による
 構成の悪化などにより、700億円の減益、
 諸経費の増減・低減努力は、200億円の減益、
 その他、スワップ等の評価損益などにより、100億円の減益、
 この結果、連結営業利益の見通しは、前回据え置きとしました。

連結営業利益増減要因（前期差）

（単位：億円）



前年同期と比較した増減要因は、ご覧の通りです。

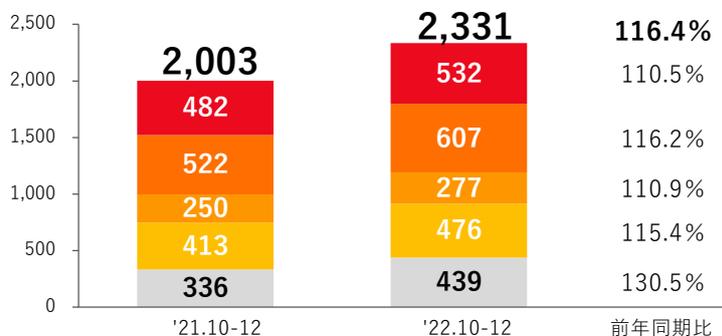
収益体質を改善しながら、未来への投資を積極的に行い、「商品と地域を軸にした経営」を実践し、モビリティカンパニーへのフルモデルチェンジに取り組んでまいります。

以上で、決算に関するご説明を終わらせていただきます。

(ご参考) 連結販売台数 (3ヶ月)

TOYOTA

(単位：千台)



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他
 - ・中南米
 - ・オセアニア
 - ・アフリカ
 - ・中近東など

ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	2,303	2,468	107.2%
電動車 [比率]	641 [27.8%]	684 [27.7%]	106.7%
内、HEV	609	649	106.5%
PHEV	26	22	86.2%
BEV	5	12	229.2%
FCEV	1	1	121.5%
グループ総販売台数	2,522	2,721	107.9%

(ご参考) 連結決算要約 (3ヶ月)

TOYOTA

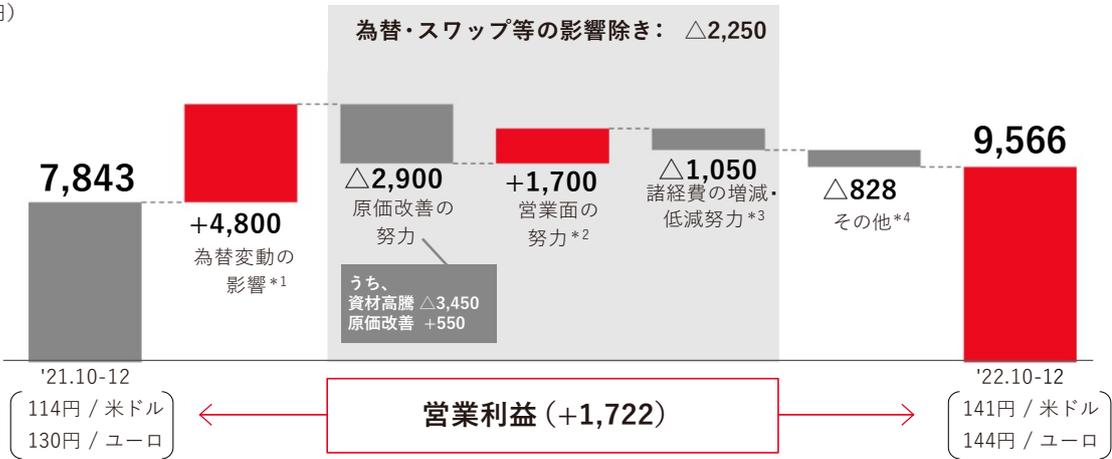
(単位：億円)

	'21.10-12	'22.10-12	増減
営業収益	77,857	97,546	+19,689
営業利益	7,843	9,566	+1,722
営業利益率	10.1%	9.8%	
営業外損益	3,091	783	△2,307
持分法による投資損益	1,544	1,700*	+156
税引前利益	10,935	10,349	△585
親会社の所有者に帰属する四半期利益	7,917	7,279	△637
四半期利益率	10.2%	7.5%	
為替レート			
米ドル	114円	141円	27円円安
ユーロ	130円	144円	14円円安

* うち、日本841 (前年同期比+12)、中国664 (同△4)、その他194 (同+149)

(ご参考) 連結営業利益増減要因 (3ヶ月)

(単位：億円)

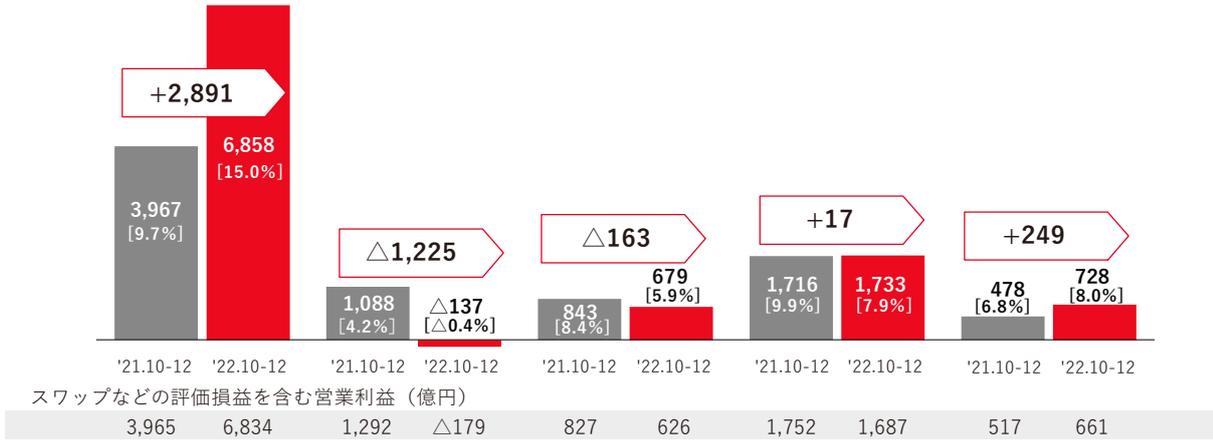


*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+3,550	海外子会社の	+200	労務費	$\Delta 350$	スワップ等の評価損益	$\Delta 493$
- 米ドル	+3,000	営業利益換算差		減価償却費	$\Delta 100$	ロシア生産終了	$\Delta 71$
- ユーロ	+300	その他	+1,050	研究開発費	$\Delta 100$	その他	$\Delta 264$
- その他通貨	+250	(外貨建引当の期末換算差ほか)		経費ほか	$\Delta 500$		

(ご参考) 所在地別営業利益 (3ヶ月)

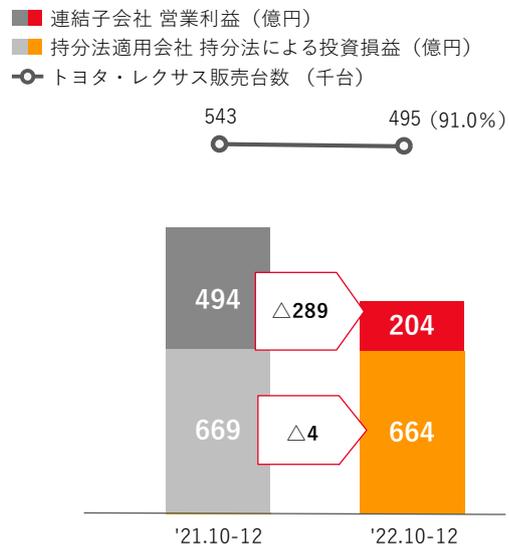
■ 営業利益 (億円) <スワップなどの評価損益を除く> [] 営業利益率 ◆---◆ 連結販売台数 (千台)

日本	北米	欧州	アジア	その他地域
482 → 532 (110.5%)	522 → 607 (116.2%)	250 → 277 (110.9%)	413 → 476 (115.4%)	336 → 439 (130.5%)

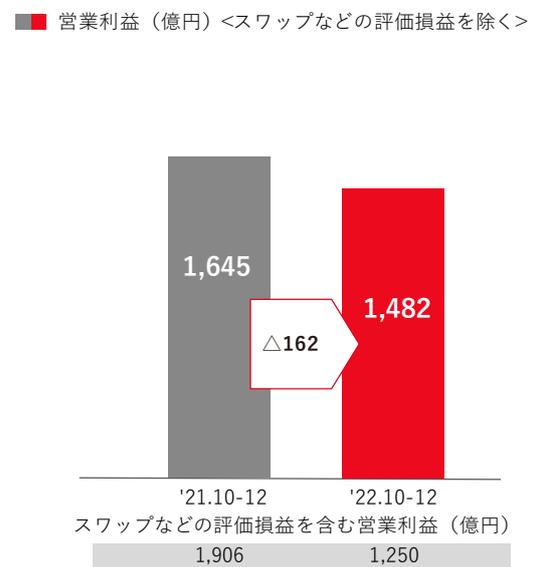


(ご参考) 中国事業/金融セグメント (3ヶ月)

中国事業 (ご参考)



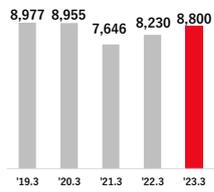
金融セグメント



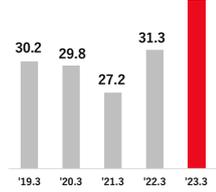
(参考) 業績推移

'19.3 : 米国会計基準 TOYOTA
'20.3~'23.3 : IFRS

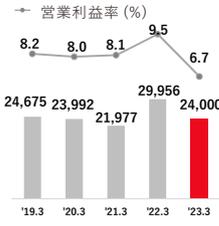
連結販売台数 (千台)



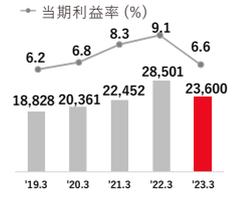
営業収益 (兆円)



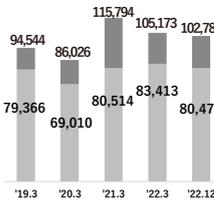
営業利益 (億円)



親会社の所有者に
帰属する当期利益 (億円)

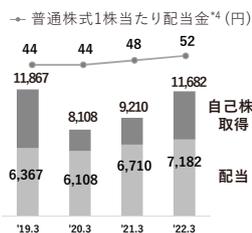


総資金量*1 (億円)



有利子
負債*2
ネット
資金量

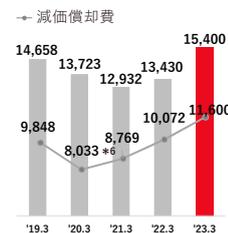
総還元額*3 (億円)



研究開発費*5 (億円)



設備投資 (億円)



*1 金融事業を除いた、現金および現金同等物、定期預金、公社債および信託ファンドへの投資
*2 第1回AA型種類株式への配当を含む(但し、'20.3期以降は、IFRS適用のため含まない)
*3 1株当たり配当額は株式分割(当社普通株式1株につき5株の割合で2021年10月1日に実施)後ベース
*4 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額 *5 '20.3期より減価償却方法を変更

*2 リース債務は含まない

■ 見通し

台数見通し

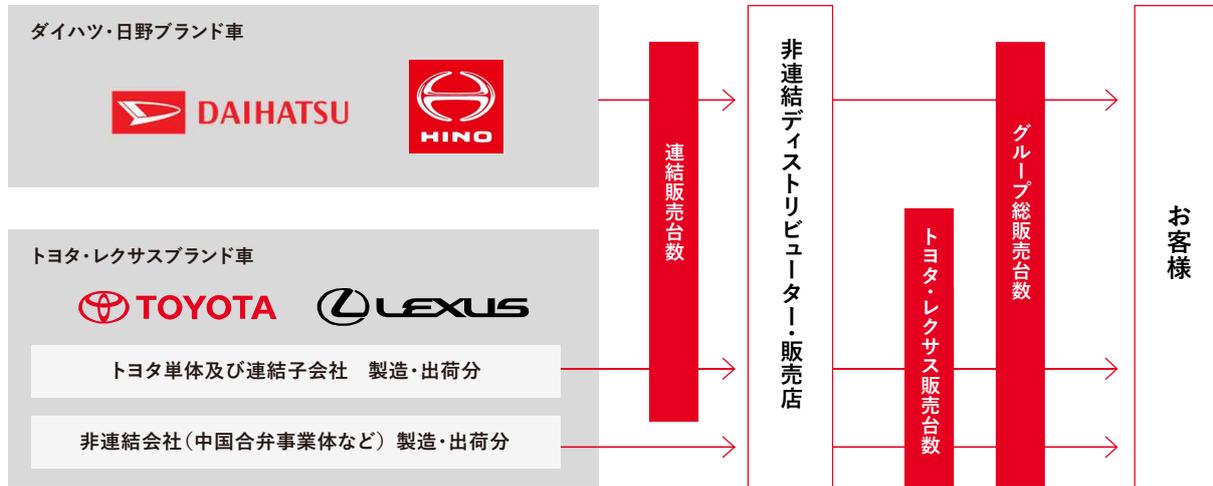
TOYOTA

(単位:千台)

		前回見通し '22.4 - '23.3	今回見通し '22.4 - '23.3	増減	前期実績 '21.4 - '22.3	
トヨタ・レクサス	生産 *	国内	2,780	2,770	△10	2,761
		海外	6,420	6,330	△90	5,809
		合計	9,200	9,100	△100	8,570
	販売 (小売) *	国内	1,300	1,400	+100	1,396
		海外	8,100	8,000	△100	8,116
		合計	9,400	9,400	±0	9,512
グループ総販売(小売) *		10,400	10,400	±0	10,381	

* 非連結会社による台数を含む

(ご参考) 販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り